



「キバナコスモス」

患者さんの権利

- | | |
|-----------------------------|----------------------------------|
| 1 安全で、かつ平等な最善の医療を受ける権利 | 5 常に人としての尊厳を守られる権利 |
| 2 疾患の治療等に必要な情報を得、また教育を受ける権利 | 6 医療上の苦情を申し立てる権利 |
| 3 治療法を自由に選択し、決定する権利 | 7 継続して一貫した医療を受ける権利 |
| 4 プライバシーが守られる権利 | 8 生活の質 (QOL) や生活背景に配慮された医療を受ける権利 |

CONTENTS

- ② 院内がん専門看護師育成教育プログラムへの院外受講生を受け入れて
- ② ちけん室コーナー
- ③ 心のきづな学講座（地域との交流シリーズ②）開催

- ④ 平成24年度 総合防災訓練に参加して
- ⑤ 診療科便り 「眼科」
- ⑥ 外来診療担当医表
- ⑥ 編集後記



院内がん専門看護師育成教育プログラムへの 院外受講生を受け入れて

がん性疼痛看護認定看護師 副看護師長 市川 瞳

当院では、がん診療連携拠点病院として、「がん患者の視点」に立ったがん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つ、がん看護に携わる質の高い看護師を育成することを目的に、平成21年度4月より単位制の院内がん看護専門看護師育成教育プログラム（レベルⅠ・Ⅱ・Ⅲ）を実施しています。今年3月には、3年間の全プログラム修了生も5名も誕生しました。さらに、今年度より院外受講生の受け入れも行っており、11施設11名の参加がありました。毎月1回、当院の会議室にて講義を開催しています。講義内容については、がん患者の特徴（身体的、心理社会的特徴）から、がんの予防、QOL、がん治療に伴う看護など、幅広く主に概論的部分を多く取り入れ、構成されています。どの受講生も、積極的に意見を出し合う様子もあり、目的意識を持って参加されているようです。また、様々な施設からの参加であり、院内の受講生にとっても、良い刺激となって有効な情報交換の場にもなっています。今後も、地域病院と一緒にレベルの高いがん看護の提供につながるよう参加者のご意見も伺いながら、企画側も努力していきたいと思います。



講義風景



ちけん室コーナー Vol.15

治験管理室 CRC(治験コーディネーター)

岩永由香

久しぶりのちけん室コーナー！最後に載せてから2年以上の年月が経ってしまいました。

当院の治験件数も増え、たくさんの患者さんにご協力いただき、

新薬開発へ貢献しています。以前から行っていたリウマチ科・呼吸器科・循環器内科・神經内科に加え、最近では消化器科・救急科・麻酔科でも治験を行っています。



今回の主題

国際共同治験ってなに？

治験とは新薬の承認申請のために行う臨床試験の事です。すべての薬は治験を行わなければ市販薬として使うことができません。

海外ではすでに使われている薬でも日本では厚生労働省からの許可がないため使えない薬がたくさんあります。海外で治験が終わって使われても、欧米人と日本人とでは体格や代謝に違いがあって海外のデータをもって日本で新薬が許可されることはありません。そこで海外と同時に日本でも治験を行って海外と同じ時期から新薬を使用できるようにと計画されたものが国際共同治験（グローバル治験）です。国際共同治験のメリットは新薬を早く使用できるようになります。嬉野医療センターでも治験の約半数は国際共同治験を行っています。

海外と同じように実施することが求められますので報告書は英語で提出、採血のスピッツも外国製で、検体はシンガポールなどに海外送付しています。先生方や検査室・放射線科の技師さんにやってもらうトレーニングもインターネットを通して英語で受講してもらっています。メールやFaxも英語の事が多く、自分の英語のできなさにいつもがっくりしています。設備や物品の整備・点検もこと細かく文書での担保が求められますし、治験の資料は治験終了後15年もの間保管が必要です。

国際共同治験は全世界で一斉に開始されますので、日本でも海外に負けないように進めていかなければな

りません。もし、日本での治験患者さんの参加が少なくて世界のスピードに遅れを取ってしまった場合は、日本だけが新薬を使えなくなってしまう可能があるからです。近年、コストとスピードのため日本以外のアジアの地域での治験が盛んになってきています。このままでは日本で新薬が使えないということがあります多くなることが懸念されます。国際共同治験は先生方の手間も多く大変ですが、日本の患者さんに早く新薬を届けるために、海外に遅れないように治験を進めていかなくてはと頑張っています。



「心のきずな学講座」 地域との交流シリーズ② 開催

教育担当師長 副島 みどり



当センターの基本理念は『信頼と心のゆとり』であり、その基本方針は、「・・・・・・人間性豊かな医療人を育み、心にゆとりを持って、患者さん本位の医療を目指します」という内容です。専門性の探究に関しては、院内・院外の研修や学会を通して自己研鑽していますが、豊かな人間性を育むための研修は、これまで企画しておりませんでした。昨年から、院長の発案により「医療以外の分野で、心が豊かになるような研修をしよう」ということで今年度が2年目になります。

今年度1回目は、嬉野市長さんに講演をしていただきました。今回は、「嬉野市の特産であるお茶の話を聞きたい」ということで、8月28日(火)に日本茶インストラクターリーダーの徳永 佳代子 先生に、「お茶のある暮らし」という演題でご講演していただきました。日本茶の歴史、嬉野茶のルーツ等お話しいただいた後に、美味しいお茶の入れ方を実演していただきました。そのお茶の何とふくよかで甘いこと。会場では、そのお茶をいただいた職員が「こんな美味しいお茶は初めて飲んだ」と感嘆の声を上げていました。会議室に茶香を焚いていただき、仕事の疲れを忘れさせていただくひと時でした。



講師 徳永 佳代子 先生

この日は帰ってから、何人の職員が美味しいお茶をいれて家族にふるまつたことでしょうか。その『どや顔』が見えるようです。職員も、まだ知らない嬉野があると思います。今年度の講演はあと2回です。皆さん、どうぞ楽しみにしていてください。



お茶の入れ方



茶 香



平成24年度 総合防災訓練に参加して

救命救急センター 山住 和之

皆様、お疲れ様です。救命救急センターの山住です。今回、平成24年度内閣府主催の「防災の日」総合防災訓練に嬉野医療センターDMATとして参加しましたので報告いたします。

1923年9月1日に発生した関東大震災にちなみ、この日には全国各地で防災訓練が行われています。今回は南海トラフを震源とする巨大地震を想定し、被災地（徳島県、高知県）で対応できない重症傷病者を被災地外へ搬送する“広域医療搬送訓練”における医療救護を目的とした訓練で、国や県はもちろん、近隣の医療機関や消防機関だけでなく、日本各地からのDMAT23チームが参集して行われました。

我ら嬉野チームはEMIS（広域災害救急医療情報システム）からの情報に基づき、参集拠点の福岡空港へ病院車にて向かい、その後、自衛隊機（C-1輸送機）にて九州のDMATチームと共に松山空港へ移動。愛媛近隣のチームによって既に設営されていたSCU（広域医療搬送拠点に設置される臨時医療施設）にて傷病者の対応および広域医療搬送の準備を行いました。

阪神・淡路大震災での反省から、国内の緊急医療体制は少しずつ整備されつつあります。いつ起るかわからない、だからこそ日頃の準備がいざという時に役に立つ、というのは中越沖地震の時にも、東日本大震災の時にも実際に経験されたことです。当院でもDMATが整備され、今回の訓練のような広域搬送やあるいは近隣での多数傷病者事案などにおける対応が求められることになりました。準備が必要です。

現在、院内災害対応マニュアルの見直しを行っており、これに基づいての災害訓練も計画しています。皆さん

の意見を聞きながら、少しずつ良いものを作つていければ、そして最終的にはいつでも、誰でも対応できる！という病院に出来たらと思っています。ご協力のほど、よろしくお願いします！！



診療科 便り

眼科



眼科医長
佐々木 満



眼科医師
高橋 峰光

眼科の現状

当院眼科では、嬉野市及び近隣地域の方を対象として診療を行っています。

平成24年度よりスタッフが代わり、1人体制から2人体制に増員となりました。

診療内容について

新患、再診の外来診療は主に月・水・金曜日の午前中に行っており、午後は小児や当院他科入院中の患者さんの診察及び処置、視野検査や術前検査などの特殊検査、糖尿病網膜症、網膜裂孔などに対するレーザー治療を行っています。

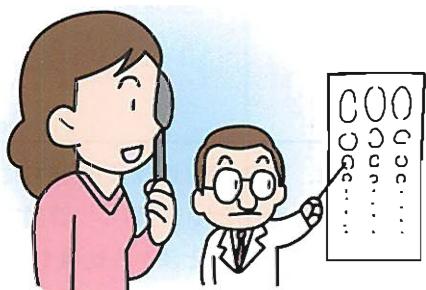
本年度の新患数は着実に増加してきています。近隣の眼科医院からだけでなく、他科からも患者さんを多数ご紹介いただき、ありがとうございます。

当院に赴任いたしまして4ヶ月、他の地域より特に多いと感じた眼科領域の疾患は、帯状疱疹、進行した糖尿病網膜症です。なかでも糖尿病網膜症に関しては、当科初診時には既に、黄斑症による視力低下や増殖性変化を生じていたり、血管新生縁内障を合併していたりする症例が見られます。地域全体での啓蒙の必要性を感じています。

網膜剥離のような緊急手術が必要な症例、増殖糖尿病網膜症のような硝子体手術が必要な症例は主に佐賀大学医学部附属病院へ紹介し、涙道手術が必要な症例は佐賀県立病院好生館へ紹介し、連携をとっています。

また、これまで1年半の間眼科手術が行えない状況が続いておりましたが、手術部、病棟スタッフのご協力の許、7月より手術を開始いたしました。現在手術日は火曜日です。基礎疾患のある方や通院困難の方が多い当科では3泊4日の入院にて手術を行っています。

今後も患者さんに適切な医療の提供と分かりやすい説明を心掛けていきますので、今後ともご指導の程宜しくお願ひいたします。



嬉野医療センター・外来診療担当医表

区分		月	火	水	木	金	
呼吸器内科	午前	副島 佳文・澤井 豊光	中野 浩文	副島 佳文・行徳 宏	澤井 豊光	中野 浩文・行徳 宏	
消化器内科	午前	北山 素 白石 良介(消化管) 磯田 広史(肝臓)	網田 誠司(消化管) 有尾 啓介(肝臓) 角川 淑子(消化管)	三根祥一郎(消化管) 北山 素 角川 淑子(肝臓)	網田 誠司(消化管) 白石 良介(消化管) 有尾 啓介(肝臓)	三根祥一郎(消化管) 磯田 広史(肝臓)	
循環器内科	午前	荒木 究 山元 天美	室屋 隆浩 三輪 高士	山元 天美	室屋隆浩(ベースメーカー) 山元 天美(第1・3) 荒木 究(第2・4)	荒木 究	
心臓血管外科	午前		力武 一久・池田 和幸			力武 一久・池田 和幸	
糖尿病・膠原内科	午前		田中 史子	森 仁恵	田中 史子	河部庸次郎	
リウマチ科	午前	河部庸次郎		荒武弘一郎	荒武弘一郎	田中 史子	
神経内科	午前			溝田 貴光	溝田 貴光		
腎臓内科	午前		力武 修一(整形で診察)		力武 修一(整形で診察)		
小児科	午前	小野 晋輔	飯田 千晶	佐藤 忠司	西 奈津子	大串 栄彦	
	午後	佐藤 忠司 (診察 14時~16時)	乳児検診(完全予約制) (診察 14時~16時)	小児腎臓外来 第1・3水曜 (診察 13時~16時) 戸本 崇(第1水曜日) 田代 克弥(第3水曜日)	小児腎臓外来 第2木曜 内分泌外来 第3木曜 久野 建夫(第3木曜日) 小児アレルギー第4木曜 (診察 14時~16時)	西 奈津子	
	午後	小野 晋康	古川 克郎 (呼吸器外科・乳腺外科)	荒木政人(消化器外科)	柴崎 信一(消化器外科) 久永 真(一般外科)	橋本 泰匡(一般外科)	
外科	午前	岡 忠之 (呼吸器外科・乳腺外科)	古川 克郎 (呼吸器外科・乳腺外科)				
	午後	岡忠之・古川克郎(乳腺外来) (診察 13時半~15時)					
整形外科	午前	川口 耕平・久芳 昭一 上野 雅也	小河 賢司・池田倫太郎 井上 拓馬	古市 格・川口 耕平 池田倫太郎	小河 賢司 久芳 昭一	古市 格・井上 拓馬 上野 雅也	
脳神経外科	午前	前田 一史	宮園 正之		宮園 正之		
皮膚科	午前	大仁田亞紀(新患) 大久保佑美(再来)	大久保佑美(新患) 大仁田亞紀(再来)	大仁田亞紀(新患) 大久保佑美(再来)	大久保佑美(新患) 大仁田亞紀(再来)	大仁田亞紀(新患) 大久保佑美(再来)	
泌尿器科	午前	谷口 啓輔(再来)	谷口 啓輔(新患)		谷口 啓輔(新患)	谷口 啓輔(再来)	
	午後	林田 靖(新患)	林田 靖(再来) 計屋新信(第1.3.5火曜日)		林田 靖(再来)	林田 靖(新患)	
婦人科	午前	松脇 隆博	松脇 隆博				
産科	午前	梶村 慎	一瀬 俊介		一瀬 俊介		
	午後	助産師外来(14時~16時) (完全予約制)		助産師外来(9時~16時) (完全予約制)	助産師外来(14時~16時) (完全予約制)		
眼科	午前	佐々木 満(予約制) 高橋 峰光(予約制)		佐々木 満(予約制) 高橋 峰光(予約制)	佐々木 満(予約制) 高橋 峰光(予約制)	佐々木 満(予約制) 高橋 峰光(予約制)	
耳鼻咽喉科	午前	吉田 晴郎(再来) 前田耕太郎(新患)	吉田 晴郎(新患) 前田耕太郎(再来)		吉田 晴郎(新患) 前田耕太郎(再来)	吉田 晴郎(再来) 前田耕太郎(新患)	
	午後			吉田 晴郎・前田耕太郎 (診察 13:00~16:00)			
放射線科	午前	牧野 謙二・福井健一郎 福田 雅敏	牧野 謙二・福井健一郎 福田 雅敏	牧野 謙二・福井健一郎 福田 雅敏・坂本 純美	牧野 謙二・福井健一郎 福田 雅敏	牧野 謙二・福井健一郎 福田 雅敏	
	午後	牧野 謙二・福井健一郎 福田 雅敏	牧野 謙二・福井健一郎 福田 雅敏・山崎 拓也	牧野 謙二・福井健一郎 福田 雅敏	牧野 謙二・福井健一郎 福田 雅敏	牧野 謙二・福井健一郎 福田 雅敏	
麻酔科 ペインクリニック	午前	香月 亮 石川亜佐子	香月 亮 石川亜佐子			香月 亮 石川亜佐子	
救急科 (8:30~17:15)		藤原 純祐 山住 和之	藤原 純祐 山住 和之	藤原 純祐 山住 和之	藤原 純祐 山住 和之	藤原 純祐 山住 和之	

ご紹介いただく患者様につきましては可能な限り事前予約をおとりいただきますようにお願い致します。
(当院の受付時間は午前8時30分~午前11時00分迄です。)

※ 内科系 第2・第4木曜日はベースメーカー外来を行っています。
毎週木曜日の午後(13時~14時)は禁煙外来(保険診察外)を行っています。(予約受付 14時~16時) ★予約制

毎週月・金曜日の午後は一般外来を受け付けています。(受付 14時~16時)

毎週火曜日の午後は乳児健診(完全予約制) ■第1・3水曜日の午後は循環器外来(受付 13時~16時) ★予約制

毎週水曜日の午後は内分泌外来(受付 13時~16時まで)

毎週第4木曜日の午後は小児アレルギー外来(受付 14時~17時まで) ★完全予約制

毎週第2木曜日の午後は小児腎臓外来(受付時間 13時半~15時)

特殊診療のご案内

外科 ご紹介は整形外来宛でお願いします。

整形外科 救急患者については救急室にて対応しております。

泌尿器科 毎週火・木曜日の午後は、検査予約外来を行っています。

産婦人科 毎週月・木曜日の午後は母乳育児指導を受け付けています。(受付時間 13時30分~15時30分)

耳鼻科 每週第1・3木曜日の午前及び毎週水曜日の午後は、補聴器外来を行っています。

麻酔科 ご紹介は月曜日でお願いします。救急の場合はこの限りではありません。

歯科 入院患者さんで歯科診療の必要が生じた時は歯内歯科診療所へ往診の依頼を行って下さい。

2012.10.1

秋も深まり、病院の廻りの紅葉も今がいちばん美しい。また秋の夜長は、読書に耽けりたい気持ちにも駆られる。ふと我に返り現実に戻ると、難しい業務課題が待ち受けている。いや案外それほど難しい課題でないかもしれません。自己コントロールを怠ると、つい深刻に悩み考え込んでしまう。さらっと淡々と処理すればよい。結果の良し悪しは、費やした時間と正比例にならない。

自己コントロール修養のため、最近、読んだ本の題名が「仕事は楽しいかね?」<最終講義>。はたして、ほんとうに自己(情動)コントロールに功を奏すのか楽しみである。